

第二回名勝三保松原・清見潟展

三保羽衣伝説 富士のまなざしと麗しの天女

三保松原・清見潟の景色の美しさに心を奪われたのは人間ばかりではありません。能「羽衣」で天女は、ここは天ではないのに、天のように美しい場所であると言っています。江戸時代、浮世絵には描かれていた三保の天女ですが、明治に入ると日本画・油絵なども数多くみられるようになります。早春は三保の一番美しい季節。あなたの思う天女はここにいますか。どうぞ探してみてください。寒い時期ですが、美しき天女たちが皆様を暖かくお迎えいたします。 浮世絵 日本画 工芸品などを展示させていただきます。



日時 令和4年1月8日(土)～1月31日(月)

9時～16時30分 年中無休

場所 みほしるべ一階展示室 清水区三保 1338-45

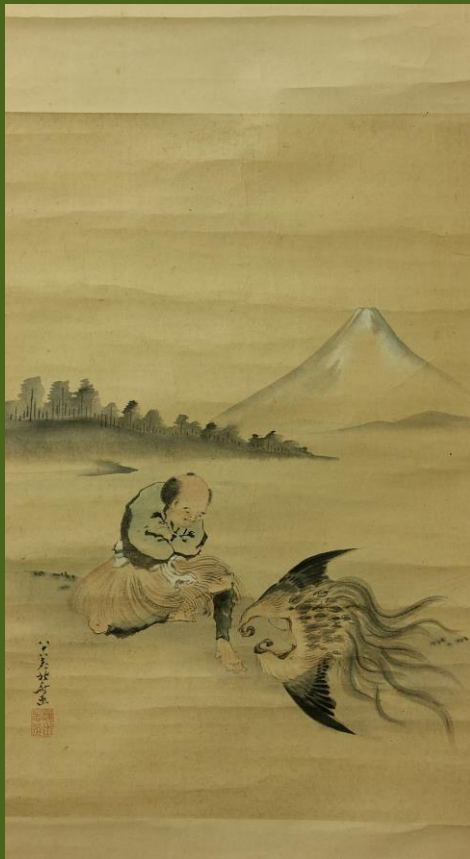
主催 NPO 法人三保の松原・羽衣村

連絡先 電話 054-334-1236 担当遠藤

協力 静岡市三保松原文化創造センター「みほしるべ」

本事業は「ふるさと応援寄附金等による NPO 等指定寄附事業」によって皆様からいただいた寄附金を活用して、作品の修復や展示用の備品の購入をしています。市民の熱意でつくる市民手作りの美術展です。





白龍と思われる人物が眺めてるものは何でしょうか。「羽衣」です。

下の作品では松に羽衣が掛かっています。

羽衣というと私たちはひらひらしたローブのようなものを思い浮かべます。

昔の絵を見ると天女はローブとともに羽根のマントもつけています・

この形は能装束でも羽衣文様として認識されていました。

今は忘れられていますが、羽衣の意匠として広く知られていたようです。



三保松原は日本を象徴する景観地です。清見瀧の一遇に位置する美しき松の洲浜、天女の遊んだ仙境です。